

2022-23  
秋冬号

# 家庭画報 特選

榊屋高尾  
西陣織の  
高級帯を  
あなたに

きもの  
サロン

# きものSALON

私の“推し”きもの

きもの美人が  
おすすめする

南野陽子さん、榊せい子さん  
マドモアゼル・ユリアさんほか



仲間由紀恵さん  
超絶技巧を  
纏う心

【人気連載】  
浅田真央さんのきもの修業  
林真理子さん「真理子の部屋」

きもので開運招福  
檀れいさん

紬、愛しや上戸彩さん

美の頂点、辻が花  
常盤貴子さん

きものに似合うジュエリー&ウォッチ  
きもの美人のヘアアレンジ

祝宴の場を果報で満たす  
愛らしき縁起くし



艶やかな京紫に瑞兆の光が  
んだような霞ぼかしを配し  
やかな宝尽くしと狂言の丸  
ズミカルに描いた付け下げ  
シックな可愛らしさが宿る  
を、宝剣の帯で品格のある  
へと昇華させた、祝宴にふ  
い一揃えです。きもの・帯/  
豊中・織元 帯揚げ/和小平  
ら 帯締め/道明 髪飾り/  
ら清老舗 扇子・バッグ/と  
井澤屋 履物/銀座ぜん屋  
帯留めにしたブローチ55万  
ウエダジュエラー (ウエダ  
ラー 帝国ホテル店)

# 愛らしく装うへ大吉小紋

水晶玉子先生の鑑定によると、同じ柄が繰り返される小紋は2023年の開運モチーフです。ワンピース感覚で小粋に装いながら、着るたびに幸運を招いてください。

## 緻密な型染めに宿るクラシックな可愛らしさ

左上・花びらや葉の量しの描写に至るまで、細やかに型を使い分けた、精緻な更紗文様の小紋です。暖色系だけでまとめず、ブルーを利かせた配色がモダンな印象をもたらします。きもの／竺仙

## アートシーンにも映えるスタイリッシュな瑞雲文様

右下・リズムカルに散らした大小の雲が、運気の良いスポットへと運んでくれそうな一枚。透明感のあるミントブルーは、ギャラリーでのレセプションなどで着映えします。きもの／工芸染匠 成謙

## 丸文が軽やかに舞うオーセンティックな一枚

左下・更紗調の図案を丸文に意匠化。江戸紫の綾子地と、繊細な手描き友禅の筆法が織り成す古典的な上品さも魅力です。帯で変化をつけて様々な場面で楽しめます。きもの／豊中・織元



豊中・織元の和文化和を繋ぐ

# 家族の絆・三姉妹の振り袖

阪急織 豊中駅にほど近い住吉街に店を構える 豊中・織元。

地域に密着してお客さまと良好な信頼関係を築き、長いおつきあいをしています。七五三でお子さまの成長をお世話してから十数年、お嬢さまたちの成人式の季節の運びも、個性に合わせて二人をサポートしています。お客さま成長は、豊中・織元の大将・小保瀬子さんとともに大きな喜び。小物二から三つまで遊び、提案しています。

撮影：小保瀬氏 (2010年) / ムネアキア / 船角 水村子 夏美子 青原信子 (当時長女) 橋本 文 相澤子 船角 芳子 船角 穂村社



船角家の4兄弟、長男和成さんとそれぞれ七五三のきもの姿の三姉妹の記念写真。

豊中・織元の店主、西宗哲治さんは、茶道が趣味で画家でもあった、故小保英之助会長が作品を活かす場所を、と建てた記念館に、茶室を併設しました。

この茶室では、茶事だけでなく、お客さまのお嬢さまや茶道初心者、気軽に茶道に触れてほしいと気取らない会を催すなど、和の文化に触れていただくスペースとして活用しています。今回は、七五三のときからお世話をしている、船角貴樹さん、裕子さんのお嬢さまの記念写真の撮影会も、茶室の縁を企画しました。末っ子の三女蘭さんが成人式を迎えるにあたり、節目の年に、お母さまの裕子さんとも交えて、母の四人で、一家の記念の撮影会となりました。



と、右から長女咲良さんと三女蘭さんが好みの振袖で揃いました。五立心が強い娘たちなので、普段はませんが、きもので写真を撮るといふことに決まりました。一家できものに目を凝らします。3人は歳も近いので、友達のように名前を呼び合います。豊中・織元オリジナルの地に紋りが可愛いストール。更におバッグもおすすです。



3人の振袖の帯結びも、それぞれに合わせて、異なる結び方になりました。右の咲良さんには「晴南島四季祭服」、中の蘭さんには「五くら雷」でクラシックに、左の百々さんには、「船室船」のみで、家族揃っての、記念写真は、二度とない一瞬を記録してくれました。



大将・小保瀬子さんと店主・西宗哲治さん。大将嬢が愛した「織元好み」を、西宗さんと女将・珠紀さんが受け継いでいます。



# 小紋でお茶のお稽古

大学生でこれまで学業が忙  
茶のお稽古はこれから。記  
茶室、無端庵で裕子さんの  
もと、お茶をいただきました  
さんは、稲垣稔次郎作の霞  
良さんは一つ紋の付け下  
さんは、大きな扇子を描い  
で、若々しい装いです。



## 銀杏文様の意匠を 辻が花で楽しむ

辻が花の技法で銀杏と雪輪文様を濃紺と薄藍と白で表現したモダンな帯。淡い撫子色の地に流水模様が配された稲垣稔次郎作の霞文様の小紋を合わせれば、帯の個性が際立ちます。黄色のイメージを覆した配色で表現されたことで、銀杏文様の象徴的なデザイン性が引き立ちます。

きもの・帯／ともに豊中・織元  
帯揚げ／和小物さくら 帯締め／道明 髪飾り／かづら清老舗 バッグ／14万8500円／  
ジョルジオ アルマーニ(ジョルジオ アルマーニ ジャパン)

